

コロナ禍における就職活動の変化と紐帯作り

氏名 福田 圭翔

要旨本文（文字数は自由）

コロナ禍において就職活動はどのように変化しただろうか。そして、就職活動において「弱い紐帯の強さ」は見られるのだろうか。転職活動において「弱い紐帯の強さ」は見られたという研究例はあるが、新卒が行う就職活動や、コロナ禍においてそれが研究された例はない。新型コロナウイルスが就職活動にどんな変化を与えたのか。そして、その変化から形成された紐帯とはどういった効果があるのかを明らかにすることを試みた。筆者自身を含めた 2023 年卒業予定の 13 人の学生の方にインタビュー調査を実施しデータを収集した。結果、新卒が行う就職活動にて「弱い紐帯の強さ」が見られた。また、就職活動以外における有益な情報も、この紐帯から得られることが分かった。アフターコロナの就職活動はどのように変化していくのか、そして変化しても「弱い紐帯の強さ」が発揮されていくのかについて詳細な検討が望まれる。